

- 千代田区では、連携協定を締結した自治体と環境保全に関する意識周知・啓発の取組みを行っている。令和5年度においては、以下の取組みを実施した。
- 令和6年度においても、各自治体と連携して区民の環境保全意識の周知・啓発に取り組んでいく。

□ 事業内容

「ちよだ・つま恋の森」植樹ツアー

千代田区と姉妹提携及び連携協定を結んでいる群馬県嬭恋村を訪問し、自然観察会や植樹体験を実施した。この事業は平成24年度から実施しているもので、今年度で10回目の開催となる。嬭恋村との共催事業として植樹を体験することで、森林保全を図り、森林の役割や大切さを学ぶことを目的としている。

【連 携 先】群馬県嬭恋村

【参 加 者】区内在住・在勤・在学者24名(大人13名、子ども11名)

高山市森林体験等ツアー

千代田区と連携協定を結んでいる岐阜県高山市を訪問し、区民が自然散策や林業体験、木工体験等を実施した。この事業は今回が初めての開催で、林業体験、木工体験は高山市民も参加し、協定自治体の住民同士での交流を行った。

自然散策や高山市との共催事業として林業体験や木工体験を実施することで、森林保全を図り、森林の役割や大切さを学ぶことを目的としている。

【連 携 先】岐阜県高山市

【参 加 者】区内在住者27名(大人15名、子ども12名)

□ 取組の背景

群馬県嬭恋村とは姉妹提携・連携協定、岐阜県高山市とは連携協定を締結しており、区民が連携自治体を訪問し、自然散策や森林整備体験、連携自治体の住民との交流等を行うことで環境保全への意識啓発を図っている。

□ 工夫・留意した点

区民の環境保全意識啓発につながるように連携先の自治体との協議等を踏まえて実施内容を決定している。

□ 取組の効果

区民の環境保全への意識周知・啓発及び植樹・間伐等の森林整備実施によるCO2吸収に貢献している。



（嬭恋村での植樹体験）



（高山市での林業体験）

- 千代田区では、地方との協定に基づき、区が地方の森林整備事業（間伐等）に協力し、森林整備によるCO₂吸収量を、区から排出されるCO₂の一部と相殺（カーボン・オフセット）する取り組みを行っている。令和5年度においては、以下の取り組みにより、新たな森林整備事業が実施され、森林の有する公益的機能の発揮につながった。
- 令和6年度においても、各地方と連携して森林整備事業の推進と地球温暖化対策の両立を図る。

□ 事業内容

地方との連携による森林整備事業

高山市・嬬恋村・五城目町・智頭町と「多摩の森」活性化プロジェクトの協定に基づき、区が地方の森林整備事業（間伐等）に協力し、森林整備によるCO₂吸収量を区から排出されるCO₂の一部と相殺（カーボン・オフセット）する。

※区は整備事業費用の1/2、「多摩の森」活性化プロジェクトは費用の一部を協定により負担する。

【連 携 先】岐阜県高山市（協定締結：令和4年4月1日）

群馬県嬬恋村（協定締結：令和4年4月1日）

秋田県五城目町（協定締結：令和4年4月1日）

鳥取県智頭町（協定締結：令和5年12月25日）

「多摩の森」活性化プロジェクト（協定締結：令和5年7月31日）

【事 業 費】2,873千円（全額譲与税）

【実 績】除伐 16.81ha（高山市）

造林・下刈 0.2ha（嬬恋村）

下刈 4.95ha（五城目町）

切捨間伐 4.815ha（多摩の森）

□ 取組の背景

「2050年脱炭素社会に向けた連携協定」として、令和4年4月1日に岐阜県高山市・群馬県嬬恋村・秋田県五城目町、令和5年7月31日に「多摩の森」活性化プロジェクト、令和5年12月25日に鳥取県智頭町と協定を締結した。2050年脱炭素社会に向けて、協定自治体と連携して森林整備事業を行い、脱炭素社会に向けて積極的に取り組んでいく。

□ 工夫・留意した点

連携先の自治体と整備対象林の状況等を踏まえて整備規模等を決定した。

□ 取組の効果

協定に基づき実施した森林整備によりCO₂吸収（カーボン・オフセット）することで、区内から排出されたCO₂排出量を 相殺することに貢献している。



（ちよだ・つま恋の森看板）

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：27,076千円		②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%		④人口（※2）：66,680人	⑤林業就業者数（※2）：94人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より